

雑司が谷旧宣教師館だより

第11号
1999年4月25日発行

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎FAX (03)3985-4081



徳富蘆花からマッケーレブへ宛てた手紙

前々回の9号で、徳富蘆花とマッケーレブの間わりについて書きました。蘆花がマッケーレブに宛てた手紙をお借りできましたので紹介します。これが書かれた背景は、大正6年に一高の受験に失敗した青年が父親の知人・徳富蘆花の紹介によりマッケーレブのもとで字儀のかたわらに英会話と受験勉強をすることになっていきましたが、あまりの厳しさに青年は数日で逃げ出してしまい、青年の後見人たる蘆花がその失態をマッケーレブに手紙で謝罪したということです。(人気絶頂期の蘆花による謝罪文です。原嶋隆氏(横浜市在住)より借用。)

Kasuya,

Nov. 9, 1917.

Dear Rev. McCaleb!

I was just going to thank you for it was your exceptional kindness that took a stranger boy to your own household when your second letter surprised me very much. You can not imagine how chagrined, how ashamed I am of that boy and of myself too. Indeed, it must have been a bit of painful disappointment to you to find a Son of Nippon where you dedicated many many years of hard labour for her spiritual cultivation, so weak character

and so unfit to appreciate your very great kindness, I can not excuse myself of recommending such a milksop. The boy, it seems have been rather spoiled by his mother. He had not the courage and hamility to ascend step by step the stair from the very lowest. His courage failed. Falser modesty made him take a cowardly exit from his benefactor's house. Not a ward from him either to me. Thousand pardon, dear Rev. McCaleb! I am so sorry to have caused you such unpleasantness! Yet believe me,

though the boy was foolish enough to slip away from his very golden stair having stumbled on the lower step, your kindness will not fail to make him repent one of those days. Nay his feel must be sove even now. His silence speaks.

Yours

K. Tokutomi

Thank you for
"The Pacific Christian"

Kasuya,

Nov. 4, 1917

I was just going to thank you - for it was your exceptional kindness that took a stranger boy to your own household when your second letter surprised me very much. You can not imagine how chagrined, how ashamed I am of that boy and of myself too. Indeed, it must have been a bit of painful disappointment to you to find a Son of Nippon where you dedicated many many years of hard labour for her spiritual cultivation, so weak character

and so unfit to appreciate your very great kindness, I can not excuse myself of recommending such a milksop. The boy, it seems have been rather spoiled by his mother. He had not the courage and hamility to ascend step by step the stair from the very lowest. His courage failed. Falser modesty made him take a cowardly exit from his benefactor's house. Not a ward from him either to me. Thousand pardon, dear Rev. McCaleb! I am so sorry to have caused you such unpleasantness! Yet believe me,

though the boy was foolish enough to slip away from his very golden stair having stumbled on the lower step, your kindness will not fail to make him repent one of those days. Nay his feel must be sove even now. His silence speaks.

Yours

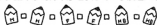
K. Tokutomi

Thank you for

"The Pacific Christian"

(裏面に続く)

菫花に“milkop”（意気地無し）と呼ばれた青年は、家に帰って父親に目玉が飛び出すほど叱られ、信玄袋を担いで雑司が谷に戻ります。後日、マッケーレブに頼ってこの手紙を買い受け、「自分に関する得難いこの手紙を生産の成めにしたい」と、終生大切にしようとす。翌年原嶋青年は進学が叫び学院を去ります。



※英文を四苦八苦して訳してみました。菫花が怒っていらす。英語の得意な方！文才の有る方！我こそはと云う方！是非とも名訳をお寄せください。

○ ——— ○
| 柏谷, 11.4.1917 |

親愛なるマッケーレブ師へ

この度は見ず知らずの少年を預かって頂くという、格別のご配慮に心から感謝しております。二通目のお手紙を拝見し、大変当惑しております。私は少年のとった行為と自分自身に対して、想像を絶するほど恥じ入っております。永年に渡って日本の精神文化の向上のためにつくしてこられた師にとって、性格が弱く、師のたいなる親切を理解できない日本の少年を見ることは、耐え難い苦痛であったことでしょう。こんな意気地なしを紹介してしまった自分自身に対して、言い訳する言葉もありません。

少年は母親にずっと甘やかされて育ちました。彼は一番下の階段から一段一段、登っていく勇氣はありませんでした。彼の勇氣は無くなってしまいました。彼の他人に比べて引っ込み思案な性格が、恩人の家からこそそそと逃げ出してしまうことになりました。彼は私にも何も知らせてはきませんでした。マッケーレブ師よ、どうかお許しください！不快な思いをさせてしまいましたことをお詫言いたします。少年は非常に愚かで黄金の階段を踏み外してしまいました。師の親切は、彼にその日々のことを後悔させずにはおかないことでしょう。いや彼は腹に心を痛めているに違いない。彼の沈黙こそがそれを物語っているのです。

K. 徳富

“The pacific Christian” という言葉に感謝いたします。

来食者の声

♡来て良かったです。色々考えさせられました。(60代, 女, 西池袋, 初めて, 広報としまをみて, 3/10)
♡すごくいいところだった。風通しがいい。ホワイトナーにきました。(20代, 女, 文京, 初めて, 3/14)

都指定文化財になる!

平成11年3月3日、雑司が谷旧宣教師館が「旧マッケーレブ邸」として、東京都指定有形文化財(建造物)となりました。平成4年以来、区の指定有形文化財となっていました。都内でも数少ない明治期の宣教師館であることから、このたび広く都民に公開することを目的として都の指定をうけました。

区内で建造物として都文化財指定をうけるのは、法明寺鬼子母神堂に次いで二番目です。

🌸 花ごよみ 🌸

旧宣教師館の庭は今、春の花々が賑わい始めてきました。ツルニチニチソウ・フッキソウ・ユキヤナギ・サクラ・チュウリップ等...

今回はこれらの花の中から、グランドカバーに利用されている、ツルニチニチソウについて紹介したいと思います。

「ツルニチニチソウ」

別名 ピンカ ツルキョウ

科名 キョウチクトウ科 宿根草

花期 4月～7月

適地 日向・半日陰

ツルニチニチソウには、マジョール種とミノール種とがあり旧宣教師館にあるのはミノール種です。

花をつけない聖はつるをのびして広がり、花をつける聖は直立にのびます。花期が長く青紫色の星のような花が葉陰から次々と咲きます。旧宣教師館の庭の一角を、グランドカバーとして利用されているツルニチニチソウは、春先の新芽がとてもきれいで常緑の葉とともに、青紫色の花が日陰を美しく覆ってくれて居ります。是非ご覧ください。 反り目



ガーデンコンサートのお知らせ



- ◇5月9日(日) 2時～4時
- ◇旧宣教師館中庭◇無料
- ◇オペラのARIA、バイオリン独奏、ハーモニカ演奏等
- ◇主催: わがまち雑司が谷
- ◇詳細: 広報としまで

【編集後記】開館10年記念のポストカードは、たくさんの方に喜ばれました。我には都文化財になったお披露目の事業を企画中です。お楽しみに。(文責浜地)